

【精神看護学】

●目標Ⅰ. 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
1. 精神保健の基本	A. 精神の健康の概念	a. 精神の健康の定義	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章1	キーワード:精神の健康の概念とは	5
		b. 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-C	危機理論	127-129
	B. 心の機能と発達	a. 精神と情緒の発達	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章	ライフサイクルと精神保健	47-77
		b. 自我の機能	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章3-A/B/C	自我～私とは何か～/自我はどのように形作られるか/フロイトが発見したこと	86-89
		c. 防衛機制	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章3-D/E	自我を守る働き～防衛機制～/防衛機制を用いて理解するときの注意	89-96
		d. 精神力動	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章6-D-4	精神力動的看護	132-133
		e. 転移感情	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-A-9	特異的な精神療法 コラム:逆転移(counter-transference)	232-242 304
	C. 精神の健康に関する普及啓発	a. 偏見、差別、スティグマ	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章3-A 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2	こころのバリアフリー宣言 地域での自立、統合への支援	166 270
		b. 精神保健医療福祉の改革ビジョン	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章3-D	新健康フロンティア戦略	167
	D. 危機<クライシス>	a. 危機<クライシス>の概念	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章6-C	キーワード:危機理論	127-129
		b. 危機<クライシス>の予防	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章6-C	キーワード:危機理論	127-129
		c. 危機介入	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章6-C	キーワード:危機理論	127-129
		d. ストレスと対処	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章10	ストレスと対処とは	130
		e. 適応理論	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章10	ストレスと対処とは	130
	E. 災害時の地域における精神保健医療活動	a. 災害時の精神保健医療活動	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-B	災害とその対策	306-313
		b. 災害時の精神保健に関する初期対応	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-B	災害とその対策	306-313
		c. 災害時の精神障害者への治療継続	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-B	災害とその対策	306-313
	F. 精神の健康とマネジメント	a. 心身相関と健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章2-D	キーワード:「体」と「こころ」の不思議な相関	10
		b. 身体疾患がある者の精神の健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章2-D	キーワード:「体」と「こころ」の不思議な相関	10
		c. 精神疾患がある者の身体健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章2-D	キーワード:「体」と「こころ」の不思議な相関	10
		d. 患者と家族の精神の健康	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A	家庭(患者と家族の精神の健康)	315-318
		e. 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章1 「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章11	リエゾン精神看護とは 看護師のメンタルヘルス	80-84 132-137
		f. 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章2-D	キーワード:「体」と「こころ」の不思議な相関	10
		g. リエゾン精神看護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章1	リエゾン精神看護とは	80-84
		h. 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4 「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章1	多職種との協働—チーム医療 リエゾン精神看護とは	15-30 80-84

●目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
2. 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A. 症状性を含む器質性精神障害 B. 精神作用物質使用による精神・行動の障害 C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 D. 気分＜感情＞障害 E. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 F. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 G. パーソナリティ障害 H. 習慣および衝動の障害 I. 性同一性障害 J. 知的障害＜精神遅滞＞ K. 心理的発達の障害 L. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	※ A～Lの共通の小項目 a. 症状と看護 b. 臨床検査及び心理検査と看護 c. 薬物療法と看護	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-H	器質性精神障害	77-82
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-F	精神作用物質関連障害	73-76
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-B	統合失調症と関連疾患	48-57
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-C	気分(感情)障害	57-64
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-D	神経症性障害, ストレス関連障害および身体症状症	64-71
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-E	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	71-73
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-G	パーソナリティ障害	76-77
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-G-2	性別違和(性同一性障害)	77
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅴ章2-C	知能とその障害	14-15
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-I	知的能力障害	82
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-J	自閉スペクトラム症, 注意欠如・多動症	82-83
			「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章3/4	乳幼児期から学童期の精神の健康/思春期と青年期の精神の健康	56-63
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-L	起立性調節障害	84-85

●目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
3. 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A. 援助関係の構築	a. 信頼関係の基礎づくり	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章3	看護師は何をするのか—精神看護の目標と役割	12-14
		b. 患者—看護師関係の発展と終結	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-D	看護師—患者関係論	130-133
		c. プロセスレコードの活用	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章7-D	プロセスレコード	151-155
	B. セルフケアへの援助	a. 食物・水分の摂取	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
		b. 呼吸	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
		c. 排泄	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
		d. 清潔と身だしなみ	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
		e. 活動と休息	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
		f. 対人関係	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
		g. 安全	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-A	セルフケアモデル	118-123
	C. 生きる力と強さに着目した援助	a. レジリエンス	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章1-A-2-c	ゴールは回復力を取り戻すこと	190-191
			「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-B-1	災害時のアウトリーチと精神看護の役割	306
		b. リカバリ＜回復＞	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-F	リカバリー	136
c. ストレングス＜強み、力＞		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-E	ストレングスモデル	133-135	
d. エンパワメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	エンパワーメント理論	124-126		

●目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
4. 精神疾患・障害がある者への看護	A. 脳の仕組みと精神機能	a. 脳の部位と精神機能	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-A/B	脳の部位と精神機能/脳の構造	36-41
		b. 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-D	精神伝達物質と精神機能	43-44
		c. ストレス脆弱性仮説	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章2-B(1-e)	ストレス-脆弱性モデル(生物学的・心理社会的複合論)	50
		d. 脳と免疫機能	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-E	キーワード2: 免疫機能と精神機能	44
		e. 睡眠障害と概日リズム＜サーカディアンリズム＞	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-D	キーワード3: 概日(サーカディアン)リズムと睡眠	43

B. 心理・社会的療法	a. 個人精神療法	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A	精神療法の基本	227-231
	b. 集団精神療法、集団力動	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B	特異的な精神療法	232-242
	c. 心理教育的アプローチ	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-C	心理教育	243-245
	d. 認知行動療法	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-D 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-C-5	認知行動療法とアセスメント 行動療法と認知療法を利用したリハビリテーション	246-249 255-256
	e. 生活技能訓練<SST>	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-C-6	SST(社会生活技能訓練)	256-259
C. B以外の治療法	a. 電気けいれん療法	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章1-C	電気けいれん療法	217-221
D. 家族への看護	a. 家族のストレスと健康状態のアセスメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A	家庭(患者と家族の精神の健康)	315-318
	b. 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A	家庭(患者と家族の精神の健康)	315-318
	c. 家族システムのアセスメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A	家庭(患者と家族の精神の健康)	315-318
	d. 家族への教育的介入と支援	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-C-7 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A	家族教育プログラム: 家族への心理教育 家庭(患者と家族の精神の健康)	259-261 315-318
	e. 患者-家族関係	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A	家庭(患者と家族の精神の健康)	315-318
E. 社会復帰・社会参加への支援	a. リハビリテーションの概念	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-A	精神科リハビリテーションの概念	250
	b. 国際生活機能分類<ICF>	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-F	キーワード2: 国際生活機能分類(ICF)とは	266
	c. 長期入院患者の退院支援	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章2-A/B	長期入院者の地域移行/長期入院を生み出さない急性期ケアの確立	160-162
F. 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a. 精神科デイケア、精神科ナイトケア	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章2-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-D-1 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-1	デイケアの役割 精神科デイケアおよびナイトケア 自立支援医療(精神通院医療)	162 262-263 272-273
	b. 精神科訪問看護、訪問看護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章2-C-1 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-4-A	訪問看護の役割 精神科訪問看護	162 288-290
	c. 困難事例に関する行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-1/5	自立支援医療(精神通院医療)/地域生活支援事業	272-273/276
G. 社会資源の活用とケアマネジメント	a. 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-B	キーワード1: ケースマネジメントとケアマネジメントの基本的な考え方	251
	b. 社会資源の活用とソーシャルサポート	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2	障害者総合支援法 提供するサービスの対象と概要	146-147
	c. セルフヘルプグループ	「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章7-B	セルフヘルプグループ	141-145
	d. 自立支援医療	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-1	自立支援医療(精神通院医療)	272-273
	e. 居宅介護<ホームヘルプ>、同行援護および行動援護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-2	提供するサービスの対象と概要 介護給付	146-147 273
	f. 重度訪問介護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-2	提供するサービスの対象と概要 介護給付	146-147 273
	g. 生活介護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-2	提供するサービスの対象と概要 介護給付	146-147 273
	h. 短期入所<ショートステイ>	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-4	提供するサービスの対象と概要 介護給付	146-147 275
	i. 共同生活介護<ケアホーム>	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-3-A	地域における精神障害者のニーズ	283-284
	j. 生活訓練	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-4	提供するサービスの対象と概要 地域相談支援給付	146-147 275-276
	k. 就労移行支援	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-3	提供するサービスの対象と概要 訓練等給付	146-147 273-275
	l. 就労継続支援A型・B型	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-3	提供するサービスの対象と概要 訓練等給付	146-147 273-275
	m. 共同生活援助<グループホーム>	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-C-2	提供するサービスの対象と概要	146-147
	n. 地域生活支援事業	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-B-5	地域生活支援事業	276-278
	o. 精神障害者保健福祉手帳	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-2-C	精神障害者保健福祉手帳に基づくサービスの概	278-279

●目標Ⅴ. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁	
5. 安全な治療環境の提供	A. 安全管理<セーフティマネジメント>	a. 病棟環境の整備と行動制限	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A-3 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-A-1/2/9	入院者の処遇 院内感染予防/褥瘡予防/隔離・身体拘束のケア	143 295-298/304-305	
		b. 自殺、自殺企図、自傷行為	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-A-3	自殺企図・自傷行為の防止	299-300	
		c. 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-A-4	他者への攻撃的行動・暴力の防止	300	
		d. 災害時の精神科病棟の安全の確保	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-B	災害とその対策	306-313	
6. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A. 患者の権利擁護<アドボカシー>	a. 当事者の自己決定の尊重	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6-B-2/3 「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6-C-1	インフォームド・コンセント(説明と同意)/医療現場で生じる葛藤(自己決定権と患者の医師)自己決定権の侵害	43-44 44	
		b. 入院患者の基本的な処遇	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6 「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A-2/3	人権を守るために—精神看護における基本的人権と倫理的問題 入院形態/入院者の処遇	42-46 141-143	
		c. 精神医療審査会	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A-4	精神医療審査会	143	
		d. 隔離、身体拘束	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6-C-2 「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A-3 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-A-9	身体的自由に対する権利の侵害(隔離、身体拘束など) 入院者の処遇 隔離・身体拘束のケア	44 143 304-305	
	B. 精神保健医療福祉の変遷と看護	a. 諸外国における精神医療の変遷	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章5-A	世界における精神医療の歴史の変遷	31-33	
		b. 日本における精神医療の変遷	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章5-B	日本における精神医療の歴史の変遷	33-37	
		c. 精神保健医療福祉における看護師の役割	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章5-D	日本における精神科看護者の出現	39-40	
	C. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の運用	a. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の基本的な考え方	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章5-E 「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A	最近の精神保健の動向 精神保健福祉法	40-41 140-144	
		b. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>による入院の形態	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A-2	入院形態	141-143	
		c. 精神保健指定医	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-A-6	精神保健指定医と特定医師	143-144	
	7. 精神保健医療福祉における多職種連携	A. 多職種連携と看護の役割	a. 医師、歯科医師	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-1	精神科医	17-18
			b. 保健師	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-3-B	保健師活動との協働	284-285
			c. 精神保健福祉士	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-2	精神保健福祉士	18-19
d. 作業療法士			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-3	作業療法士	19-20	
e. 精神保健福祉相談員			「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-1-G	精神科外来における看護活動	267-269	
f. ピアサポーター			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-7	ピアサポーター	24-26	
g. 薬剤師			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-5	薬剤師	22-23	
h. 栄養士			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-6	管理栄養士	23-24	
i. 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師等)			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-4	心理専門職	21-22	